

令和3年度事業報告

昨年度は、当会にとって大きな節目の一年でありました。それは、今までの活動成果が認められ、緑の都市賞にて内閣総理大臣賞という大変名誉ある賞を受賞したことです。

さらに、受賞に関連しましての日本公園緑地協会全国大会での活動報告、水戸市広報（広報みと）・各種新聞による活動紹介など、多方面にわたり会の活動を紹介させていただきました。まさに、渡里町のローカル活動が世にデビューする、そのような転換期であったと思います。

11月の緑の都市賞受賞報告会では、水戸市長はじめ議員及びご支援いただいている方々をお招きし、会員の皆様方とともに7年間の活動を振り返り、あらためてその充実した足跡を実感する機会となりました。

昨年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染の影響により活動の制限が強いられたにも関わらず、管理保全範囲を広げ、また、自生植物の紹介看板や巣箱の設置などにも取り組み、散歩、自然観察等が楽しめる場づくりを展開することが出来ました。これも、会員皆様の情熱ある活動のおかげと、心から感謝申し上げます。

令和4年度におきましては、内閣総理大臣賞の受賞団体としての自信と誇りを持ち、今まで以上に、行政、関係機関はじめ多様な主体との連携・協働を強め、会員それぞれの持ち味を生かした活動を続けてまいりたいと思います。引き続き皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

今年度の活動実績は以下のとおりであります。

1. 野木山緑地一帯の環境整備

- ・渡里湧水群①出水付近の野木山緑地一帯の清掃、除草

2. 遊歩道の整備

- ・湧水群を結ぶ遊歩道の除草、竹の粉碎材の敷き込み、遊歩道沿いの竹の伐採

3. 竹林の整備

- ・混み合っている竹や倒れた竹の伐採による荒廃竹林の整備
- ・伐採竹の樹木粉碎机による粉碎、あぜ道等への敷き均し
- ・枯竹の一部焼却

4. 池及び旧用水路の整備

- ・池周りの竹伐採、植栽の剪定
- ・池の中の雑草や不要な水草等の除去
- ・池の水漏れ防止工の実施
- ・池周辺水路のホタル生息地としての環境整備

5. 湧水施設の整備
 - ・湧水箇所付近の除草、清掃作業
 - ・水樋の補修整備
6. ホタルその他の動植物の保全
 - ・ヘイケボタルが生息するホタル池付近の環境保全
 - ・ゲンジボタルが生息する田野川水辺の清掃整備
 - ・カワニナの餌を会員各々が持ち寄りカワニナを繁殖
 - ・小鳥の巣箱を12個設置
 - ・水辺の動植物のための環境作り、自生植物（ウバユリなど）の保護
 - ・自生植物等の紹介看板の設置
 - ・子供会主催ホタル観賞会の支援
7. 茨城県河川愛護事業団体として河川の環境整備
 - ・田野川水辺の竹の伐採・除草
 - ・洪水により運び込まれたゴミの処理
 - ・ゲンジボタルが繁殖している箇所の除草
8. 山村地域づくり活動助成金事業
 - ・森林づくりなどの活動として動植物の環境保全、荒廃竹林の整備
9. 広報活動
 - ・湧水だよりの発行（3回）
 - ・ボランティア団体「こみっとフェスティバル2021」にて「渡里湧水群を活かす会」の動画によるPR
 - ・SDGsフォーラム（逆川こどもエコクラブ・ホタルネットワーク mito 主催）にて内閣総理大臣賞受賞と当会の活動等の講演
 - ・ホームページを充実して「渡里湧水群を活かす会」を広くPRした。
 - ・現地に「渡里湧水群」の説明用看板設置準備
10. （公財）都市緑化機構主催 緑の都市賞 内閣総理大臣賞受賞関係
 - 10月29日 （一社）日本公園緑地協会全国大会にて、緑の都市賞受賞事例発表
東京 日本教育会館
 - 11月22日 授賞式 東京 明治記念館 会長参列
水戸市役所：オンラインにて役員参列
 - 11月26日 水戸市長 表敬訪問
 - 11月28日 受賞報告会
場所 台渡里公民館
参加者 80名（来賓を含む）
 - 12月10日 茨城県知事 表敬訪問

- ・受賞祝として紅白饅頭を会員に配布
- ・湧水だより受賞記念号を発行
- ・内閣総理大臣賞受賞の のぼり旗 を作り渡里地区沿道に立てる。(40本)
- ・水戸市庁舎前にお祝の懸垂幕を掲示(水戸市)
- ・玄関入口の掲示スペースにおいて、渡里湧水群を活かす会の受賞・活動等の紹介
- ・玄関入口TVモニターにおいて、渡里湧水群を活かす会の活動動画の紹介

尚、活動日等の詳細は別紙「令和3年度活動記録」のとおりであります。